

(様式第8号)

事業報告書 (令和 1 年度)

事業名 第24回岡山路面電車まつり

団体名 特定非営利活動法人公共の交通ラクダ 担当者名 堀脇正信

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容 (日時、場所、参加対象者、人数、内容等)

日時 6月8日(土) 午前10時～午後4時

会場 1. 岡山路面電車祭り・駅前広場会場

- ・ ↓ミニ路面電車 (MOMO型) 体験乗車 400人



- ・ ライブイベント、過去最大の10チーム出演者60名↑
- ・ 「SGDs みんなの交通おかやまM a a S」展示出前公聴会
瀬戸芸アクセスマップ春版配布、瓦版配布、バスマップ展示、アンケート
岡山駅前路面電車看板モデル↓ パネル展示↓



- ・ ↓RACDA鉄道模型運転会、駅前乗入模型 まもちゃん↓



(様式第8号)

- ・山陽学園テント(JRC)、まもちゃん

会場2. 東山車庫会場

- ・路面電車ちよこつと運転体験 50名



- ・パトカーなど働くはたらくクルマ大集合 ↑
- ・おかでんみゅーじあむ de カフェタイム等など

観客は約4,000人

- ・チャギントン電車出発式、小学1年生無料バス贈呈式、プラレールなど



マスコミ報道 NHK、RSK、OHK、朝日、毎日、読売、山陽

チラシ配布 15,000部を京橋朝市、市内各所で事前、当日配布

第24回 岡山 Okayama Tram Festival 2019
路面電車まつり
6月8日(土) 10:00 ~ 16:00
会場 岡山駅東口広場/河電東山車庫

- 路面電車体験
1. 路面電車運転体験 (50名限定)
2. 路面電車乗車体験 (50名限定)
3. 路面電車乗車体験 (50名限定)
4. 路面電車乗車体験 (50名限定)
5. 路面電車乗車体験 (50名限定)
6. 路面電車乗車体験 (50名限定)
7. 路面電車乗車体験 (50名限定)
8. 路面電車乗車体験 (50名限定)
9. 路面電車乗車体験 (50名限定)
10. 路面電車乗車体験 (50名限定)
- 小学1年生無料バス贈呈式
1. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
2. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
3. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
4. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
5. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
6. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
7. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
8. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
9. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
10. 小学1年生無料バス贈呈式 (50名限定)
- プラレールなど
1. プラレールなど (50名限定)
2. プラレールなど (50名限定)
3. プラレールなど (50名限定)
4. プラレールなど (50名限定)
5. プラレールなど (50名限定)
6. プラレールなど (50名限定)
7. プラレールなど (50名限定)
8. プラレールなど (50名限定)
9. プラレールなど (50名限定)
10. プラレールなど (50名限定)

2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ

路面電車まつりでは、電車だけでなくバスから自転車、徒歩まで含めて、環境だけでなく福祉バリアフリーなど生活全般に対して、公共交通を使い維持していくことが大切だとの観点で開催している。1996年以來、全国で「路面電車の日6月10日」を制定し、各地で連携して取り組んできた運動だ。特に京都議定書の1997年頃からは、持続可能な交通が持続可能な社会をつくるというSGDsの概念を先取りして開催してきた。

岡山など地方都市では過度な自動車依存が続き、市民の意識も低いことから、特に岡山では路面電車のある東山だけでなく、路面電車駅前乗入れの計画される駅前広場で、より多くの市民に見ていただくイベントとしている。駅前広場が単にきれいに整備されるだけでなく、頻繁に市民啓発イベントを開催することは、都市のアメニティを高めることになるとの観点も重要であり、2001年以來駅前での開催も継続してきた。

駅前会場でも東山会場でも、子供達の喜ぶイベントを集中し、付いてくる保護者を運動に巻き込む努力をしている。駅前での音楽アーティストの活躍も、彼らの情報発信力を生かす取り組みだ。

持続可能な社会では、市民協働が欠かせず、一方行政の役割の再認識も必要で、県警や消防局の協力で、パトカーや救急車にも参加してもらっている。子供達にはたらく車の意義を知って貰う取り組みも、いち早く取り組んできて、最近では広がってきたと自負している。駅前や東山でも毎年の山陽女子高校だけでなく、様々な団体が参加するようになった。点字ブロック啓発運動も今年是一段と参加メンバーが増えた。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

今年も梅雨時期にもかかわらず、抜群の快晴に恵まれ、例年以上に参加者が増えた。駅前では今年も約1万人の参加者があり、路面電車駅前乗入れの検討が進んできたことから、県外の参加者も多く、パネル展示では質問も増えた。

フィンランドから始まったMaaSという、すべての交通を自分なりに便利に使い倒す取り組みの紹介は、ESDやSGDsの取り組みと連携するものであり、今年開催の「瀬戸内芸術祭」や秋に開催した「全国バスマップサミット岡山」の関連展示も盛りだくさんであった。ボランティアスタッフは全体で60人。

東山会場では今年登場したチャギントン電車の出発お見送り式を開催、多くの子供達が記念撮影をし、テレビカメラも沢山やってきた。小学1年生への1年間無料パス贈呈式も東山で行った。意外に好評なのが、東山でのプラレールコーナーで、ラクダとして大量にプラレールを所有していることから、東山での実績を見て、毎年あらたな出店依頼が舞い込んでおり、路面電車まつりがそのきっかけとなっている。

若者や子供達がまず電車バスに興味をもっといただくことが、公共交通全体を支えていくことになる。岡山市ではようやく電車バスの高齢者割引が検討されているが、できれば子供や高校生は無料というような制度が作れないか、我々の全国ネットワークでは検討を始めている。

4. 今後の課題と展望

駅前広場での大規模イベントは、設営撤収の手間や経費が膨大で、しかも屋外イベントであることから、天候や事故などのリスクも大きく、担い手の不足が課題だ。毎年会場への出展者からボランティアが増えてはいるが、特に当日の設営スタッフが不足している。そこでブース出店していただく他団体に、できるだけスタッフを増やすようお願いしている。ただ当日にならないとスタッフ数がわからず、対応に苦慮している。

設営撤収を1日で行うことも、相当なストレスになっており、費用面も毎年膨らんで資金調達に苦慮している。本来広場自体がイベント利用を考慮して居らず、電気・水道もなく毎回発電機が必要で、テントを飛ばされないためのアンカーなどもなく、我々だけでなく大きな組織でも設営と費用には苦慮しているはずである。駅前広場改修の機会に配慮して貰いたいものだ。

ラクダ設立のきっかけとなった路面電車の駅前乗り入れや環状化は、具体的な事業日程があきらかになったが、駅前乗入れ工事が始まると来年以降駅前での開催には影響があるかもしれない。

次回では早い時点から取り組んできた音楽イベントをやや押さえて、公共交通全体の嵩上げをはかるため、各地で行われている「バスまつり」の要素も入れていこうと考えている。岡山市の公共交通網形成計画が策定されようとしており、我々は「出前公聴会」の回数を増やして、各地域のバス路線誘致の希望を聞いて回っているが、今後は大々的に駅前広場では出前公聴会やワークショップを開催していきたい。

東山会場については、路面電車の車庫があることから、全国の鉄道ファンもたくさんやってくる。ファン向けの鉄道グッズ販売コーナーの拡大や、ラクダオリジナルグッズの開発を進めて、各地に負けないものにしたい。